

帰還者たちの記憶ミュージアム

絵画展

戦争になる？

マンガ・挿絵でみる戦争体験

2025年

2月5日

水

↓

2月11日

火祝

入場無料

9時から17時



©北野美子

どうなるの？

学芸員との
おしゃべり鑑賞会

2月8日(土)、9日(日)、11日(火・祝) 事前申込不要
各日13:30開始(約30分)

展示している絵の前で、学芸員といっしょにお話ししながら
作品を見てみましょう。おとなも子どももご参加いただけます。
参加者多数の場合は、入場制限する場合があります。ご了承ください。

ワークシートをさしあげます
期間中いつでも

展示している絵を楽しみ、
より身近に感じるための
手がかりにしてください。

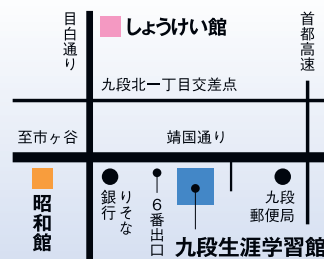
九段生涯学習館2階 九段ギャラリー (東京都千代田区九段南1-5-10)

主催: 帰還者たちの記憶ミュージアム (平和祈念展示資料館 [総務省委託])

後援: 千代田区、千代田区教育委員会

協力: 昭和館、しょうけい館

会場アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線、
都営地下鉄新宿線「九段下」駅下車 6番出口前



連携企画

昭和館 ニュースシアターで関連する映像の上映を行うほか、図書室で関連図書を紹介します。
千代田区九段南1-6-1 Tel.03-3222-2577 ※2月10日(月)休館。期間中、常設展示室はお休みです。

しょうけい館 戦傷病者の証言映像を上映するほか、関連図書を図書室で紹介いたします。
千代田区九段北1-11-5 グリーンオーク九段2階 Tel.03-3234-7821 ※2月10日(月)休館

※九段生涯学習館には駐車場がありません。
近隣のコインパーキングをご利用いただくか、
公共交通機関でご来場ください。

帰還者たちの記憶ミュージアム 絵画展

戦争になるとどうなるの？

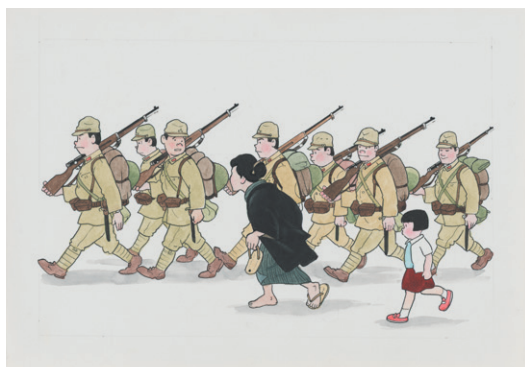
入場無料

マンガ・挿絵でみる戦争体験

間もなく、日本は戦後80年を迎えます。一方で、世界に目を向けると争いは絶えずどこかで起こっています。戦争になるとどんなことがおこるのか、日本の過去の経験から知り、平和とは何かを考えるきっかけとなる絵画展を開催します。

本展では、戦争になると生活はどう変わるの？ 家族はどうなるの？ 戦地では何があったの？ など、子どもたちの問いに寄り添えるような、ユーモアのある親しみやすい

タッチで戦争体験を描いたマンガや、優しくぬくもりのある絵本の挿絵などを紹介します。これらの作品展示を通して、絵に描かれていることの背景を分かりやすく解説します。現在も戦争で辛い思いをしている人たちに想いを寄せ、子どもたちの抱く疑問を解く手がかりが見つけれられる場になることを願っています。



兵士として戦地へ行く息子を見送る母と妹。
「戦地へ発つ日」
©斎藤邦雄



父のシベリア抑留体験を描いたマンガ作品。
「凍りの掌 シベリア抑留記」表紙
©おざわゆき/講談社



戦争に負け、海外にいた日本人は住むところを追われた。
「戦れ」
©ちばてつや

帰還者たちの
記憶ミュージアムで
開催中！

同人誌「凍りの掌」2巻表紙
©おざわゆき



企画展 おざわゆき「凍りの掌」原画展 —シベリア抑留 記憶の底の青春—

漫画家・おざわゆき氏の父である小澤昌一氏の抑留体験を描いた『凍りの掌』の原画を紹介。

会場 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館)企画展示コーナー
(新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階)

期間 前期:2025年1月21日(火)~3月2日(日) 後期:3月4日(火)~4月20日(日)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、2月2日(日)

展示会場をめぐってスタンプを集めましょう！ 2つ揃ったらスタッフに見せてください。



特別展「戦争になるとどうなるの？」

期間:2025年2月5日(水)~2月11日(火・祝)

場所:九段生涯学習館2階 九段ギャラリー(千代田区九段南1-5-10)



企画展「凍りの掌」原画展

期間:2025年1月21日(火)~4月20日(日)

場所:帰還者たちの記憶ミュージアム(新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階)

オリジナル
グッズを
さしあげます

グッズ引き換え期間
2025年4月20日まで



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館【総務省委託】

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
Tel. 03-5323-8709
<https://www.heiwakinen.go.jp>

